

お知らせ

本教会へ初めて来られた方々を
心から歓迎いたします。

「毎月最初の主日には聖餐式を行います。」

教会の働き

- 今日は奉仕デーです。ご協力をお願いします。
- 13 日(木)7:30、男女宣教会定期礼拝があります。
- 16 日(日)は、収穫感謝主日として礼拝をおさげします。また、礼拝の中で七五三のお祝いと祝福の祈りも行います。子どもたちの健やかな成長と、主にある歩みのために、お祈りしましょう。
- 10 日(月)に信州祈り会の集まりが松本聖潔教会にてあります。信州のリバイバルのために心を合わせて祈りましょう。
- 11 月 23 日(日)、本場キムチバザー&コンサートが行われます。礼拝後、午後 2 時から バザーとコンサートを予定しています。地域の方々に主の愛と喜びが伝わり、このイベントが福音の種として豊かに用いられるように祈りましょう。多くの方々が集い、良い天気を守られて、主の恵みが溢れる一日となりますようにお祈りください。

聖徒の為に祈りましょう。

- ・ コロナとインフルエンザから守られますように。
- ・ 施設に入られている方々の生活が守られる為に。
- ・ YouTube ライブで、礼拝している教会と聖徒の皆さんの為に。(大阪ホームチャーチ、相模原の佐々木こずえ執事の家庭など)



「キリストが私のうちに
生きておられる」

ガラテヤ人への手紙 2 章 20 節

もはや私が生きているのではなく、キリストが私のうちに生きておられるのです。今私が肉において生きているのちは、私を愛し、私のためにご自分を与えてくださった、神の御子に対する信仰によるのです。

来週礼拝奉仕者

主日礼拝 韓芽唯 (賛美リーダ) 鈴木真由美(祈祷)

夕方賛美礼拝 柳澄香(賛美リーダ) 北原孝子(祈祷)

水曜礼拝 韓芽唯(司会) 鈴木真由美(祈祷)

礼拝時間案内

主日礼拝	AM 11:00
夕方賛美礼拝	PM 2:30
教会学校 (小学生まで)	AM 9:50~10:30
水曜礼拝	PM 7:00
祈祷会・火・木曜日	PM 8:30~9:30
土曜日	PM 8:00~9:00

週報 2025-45 号

2025.11.9

神の国とその義を
第一に求める

宗教法人 イエス・キリスト

飯田福音教会



395-0807 飯田市鼎切石 3883-4

TEL 0265-56-8286

www.iidahc.com

牧 師 柳 承吉(ヤナギ ショウキチ)

副牧師 柳 智愛(ヤナギ チエ)

主日礼拝

AM 11:00~

賛美リード柳澄香

（使徒信条）

信仰告白

代表祈禱平澤寿子

特別賛美インマヌエル聖歌隊

聖書箇所ガラテヤ 2:20

（キリストが私のうちに生きておられる）

メッセージ柳承吉牧師

賛美神の家族

祝禱柳承吉牧師

夕方賛美礼拝

PM 2:30~

賛美リード柳澄香

代表祈禱高木はつ江

聖書箇所テサロニケ第二 1:1-4

（伝道者の感謝と誇り）

メッセージ柳承吉牧師

主の祈り

水曜礼拝

PM 7:00~

司会北原孝子

代表祈禱柳澄香

聖書箇所ローマ書 8:1-4

メッセージローマ書 8 章の概略(2)柳承吉牧師

主の祈り

今週の御言葉

キリストが私のうちに生きておられる

ガラテヤ人への手紙 2 章 20 節

今日の聖書の言葉「もはや私が生きているのではなく、キリストが私のうちに生きておられる」は、パウロの人生の告白であり、またすべての信仰者の生き方の核心です。かつてタルソのラビ、サウロは、だれよりも熱心なユダヤ教徒でした。彼は律法こそが救いの唯一の道だと信じ、モーセの律法と祖先の伝統に背く「ナザレの異端」すなわちキリスト教徒たちを迫害しました。彼にとってイエスは、ガリラヤの無名の大工の息子であり、律法を破る異端者にすぎなかったのです。しかし、そのサウロがダマスコへ向かう途中で、まばゆい光に包まれ、復活された主イエスに出会いました。地に倒れた彼に主は言われます。「サウロ、サウロ、なぜわたしを迫害するのか。」（使徒 9:4）その瞬間、サウロの人生は完全に変えられました。彼は悟ったのです。ナザレのイエスは死んだ預言者ではなく、永遠に生きる神ご自身、復活の主であられることを。パウロはこの出会いによって、イエス・キリストが単なる人間ではなく神の御姿であられる方であると理解しました。この永遠の神が、わたしたちのために人となられ、十字架にかかり、血を流して死なれた。それは、他ならぬあなたと私の罪を赦すためです。創造主であり、天と地のすべてを造られた方が、被造物である人間の姿をとり、ご自身のいのちを差し出して私たちを救われた。これほど理解を超えた恵みはありません。この天地の主が、十字架の上で死なれた。

パウロはそこに人間の努力では到達できない「神の救いの主権」を見ました。律法を守ることによって救いに至るのではなく、神ご自身が人となって救いを成し遂げてくださったのです。パウロは悟りました。律法も、哲学も、知識も、キリストを知ることの尊さに比べれば「損」であり「ちりあくた」にすぎないと。

この神の愛に触れたパウロは、もはや自分のためではなく、キリストのために生きる者となりました。これは、単なる比喩ではありません。パウロは自分の古い人を十字架に釘づけ、自分中心の生き方を完全に放棄しました。それゆえに、こう告白します。「もはや私が生きているのではなく、キリストが私のうちに生きておられるのです。」

キリストがパウロのうちに生きるとは、彼の思考も、感情も、行動も、すべてがキリストによって支配されることを意味します。彼の祈り、言葉、表情、すべてがキリストのいのちに結ばれました。主の臨在がいつも彼と共にあったのです。

主があなたのうちに住まわれるとき、あなたの人生は単なる生活ではなく、「礼拝」となります。あなたの存在そのものが神への奉仕であり、あなたの心が主の御座となります。「もはや私が生きているのではなく、キリストが私のうちに生きておられるのです。」この一節こそ、パウロの信仰の告白であり、わたしたちすべての信仰者の生き方です。

キリストがあなたのうちに生きておられますように。あなたの顔に、言葉に、愛に、祈りに、キリストのいのちがあらわれますように。主があなたのうちに住まわれるとき、あなたを通してこの世界に神の栄光が現れます。